

合宿、再び

昨年の9月以来、2回目の合宿が先週末にあり、また、楽しい思い出ができました。
前回の合宿の様子は、こちらをご覧ください。

[『合宿』](#)

今回の合宿の目的は、『**実務に役立つ 社会福祉法人の会計基準 Q&A**』（清文社）の第2版の原稿を仕上げることにあります。

場所は、前回同様、奈良の山奥にある社会福祉法人の施設です。森と田んぼに囲まれた口ツジで、隔世して作業に臨みます。なんちゃって・・・。

今秋出版予定の第2版では、実務に役立つQをさらに充実させます。初版ではQ&Aは59問ありましたが、88問に増やします。

例えば、

- ・補助金や賃金の弾力運用通知との関係で財務諸表の訂正は可能か。
- ・民退共の退職金処理
- ・拠点区分の考え方　《具体例》保育所と老人デイサービスセンター
- ・匿名・多額寄附金収入の計上区分
- ・社会福祉法人における資産運用
- ・後発事象の注記
- ・新規開設施設の拠点区分の設定
- ・【附則】 経理規程の様式例

今回の参加者は5名。日曜日の宿泊になったため、参加できる人が限られました。

また、時間が限られているため、全部の原稿には目を通せず、意見集約の必要なものを重点的に扱っていきます。

朝の部、昼の部が順調に進んでいきましたが、夕方からあいにくの雨が降り出しました。夕食は、恒例のバーベキューを予定していました。さすがに、この天気では…。何とかならないものかと、施設の人におそろおそろ電話を試みましたが、あっさり O.K.。夕食は少し離れた施設運営のレストランに食べに行くことにして、バーベキューは翌日の昼に変更できました。

この合宿、夜の部がこわいのです。

何が？

盛り上げてくると時間を忘れてエンドレスになってしまうから。

しかし今回は分担して作業することも多く“白熱の議論”もなかったため、午前1時で流れ解散。1人抜け、2人抜け、床に就きました。

翌朝、もちろん散歩に出かけました。



山の中ではありますが道路は整備されているので、たまに車がスピードを上げて通り過ぎて行きます。しかし、風景はのどかなことこの上なし。田んぼの脇を流れる水のせせらぎが、非日常の幸せを存分に感じさせてくれました。

道端には、野菜の売り場があります。

トマトはきゅうりが一山 100 円です。料金箱が置いてあります。

その横には、次のような張り紙がありました。

「オオクワガタ 3500 円。ペア 5000 円。カブトムシ オス 350 円、メス 250 円」

『ほー。売れるのかな。』

“現物”はありません。張り紙には連絡先も書いてあって、買いにいらっしやいということのようです。

朝の部、開始。

お昼になる頃、2人が先行して炭の準備を始め、全員で火を起しました。

前回の学習により、着火剤を用意しています。おまけに、バーナーを持参したメンバーもいました。これで完璧！

のはずが、またも悪戦苦闘の始まりです。

炭に火は着くのですが、全体に移りません。着火剤を入れても、着火剤だけが燃えてしまいます。バーナーで炭を焼いても、そのときは赤くなってイケタと思っても、バーナーを外した途端白くなってしまいます。

何とか火が起せたかなと思って炭を足すと、また、白くなる。

そんなこんなを繰り返して、昼食が終わったのは午後3時過ぎ。

でも「うまいなあ。」なのです。笑顔が溢れています。

ちなみに、私たちはアウトドア音痴なわけでは、ありません。用意された炭が湿っていただけです。(全員一致の結論)

午後5時まで作業をして、超満腹のまま家路に着きました。